

業務名称：JICA事業のナレッジ共有及び共創のためのプラットフォーム（JICA-VAN）としてのLMS活用促進業務委託契約
（公告日：2024年6月21日 調達管理番号：24a00048）について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
調達・派遣業務部長（契約担当）

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P18	(4) 本業務委託の内容 ②LMS更新スケジュール及び更新作業、初期導入支援の内容	現行LMSからの引継ぎ期間は3ヶ月間で宜しいでしょうか。	ご認識の通り、引継ぎ期間は3カ月間です。但し、この引継ぎ期間にも新規LMSによるID発給が発生する見込みです。11月には新規ユーザーのID発給、12月上旬には現行LMSのユーザーの一斉引継ぎが発生し、新事業者へのヘルプデスクの稼働も見込まれます。
2	P22	(4) LMS へのアクセスと拡張性	「LMSへの同時アクセスは、2023年度の実績に基づき、平均同時接続数500件、最大1,000件に対応すること。」とあるが、LMSに同時にログインしている状態か、同時にコンテンツにアクセスしている状態かどちらを指すか？	「平均同時接続数500件、最大1,000件に対応」は、同時ログイン数を指しています。
3	意見招請時の質問への回答	-	データ容量について、意見招請の回答No. 21 コンテンツの割合と回答No. 22 テラ数が合わない。	意見招請回答のNo. 21で記載したコンテンツの割合は、データ形式ごとの容量の割合を示したものではありません。現行LMSの使用容量について改めて調査を行いましたので以下を参考としてください。 データ総容量：1. 219TB 動画（MP4）：0. 743TB SCORM：0. 167TB 学習教材（PPT, PDF, Wordなど）：0. 309TB
4	P17	エ) JICA-VAN LMS データ容量利用状況及び見込み	カリキュラムデータには何が含まれるか。	カリキュラムに含まれるデータは、SCORMデータに加え、MP4、WMVなどの動画ファイルとPPT、PDFなどの学習教材ファイルのデータです。（関連する回答として、回答No. 23を参照ください。）
5	-	-	利用率が低いコンテンツについては定期的な非アクティブ処理をしているか？また、自動的に非アクティブ処理をするプログラムなどの準備の必要はあるか？	回答No. 22をご参照ください。
6	説明会投影資料	受託者の業務内容	ユーザー情報交換会の対象者は誰になるか？	ユーザー情報交換会の対象者は、研修管理者が対象となります（受講者は対象外）。LMS活用で課題を抱えている研修管理者同士を繋ぎ、課題や利活用事例のシェアを行う事を目的としています。なお、研修管理者については事業によって対応が異なっており、協力隊事業、緊援隊事業のように実施部署となるJICA職員が研修管理者となるケースの他、研修員受け入れ事業のように研修それぞれの運営を委託先が実施し、数十の委託先が研修管理者となっているケースがございます。
7	説明会投影資料	4. 現行LMSの活用事例	現行LMSの活用事例紹介の中で、JGAの母子保健のコミュニティを投影したが、外部ユーザーもこのコミュニティに参加することができるのか？	当該コミュニティの管理者が登録した外部ユーザーに限りコミュニティに参加可能です。
8	P6		ISMAP等クラウドサービスリストに未登録の場合はIS027001及びIS027017両方必要になるか。	IS027001は認証取得を必須としていますが、IS027017は競争参加にあたり必須条件ではございません。IS027017の認証を取得していない場合は業務仕様書別添8クラウドサービス調達に係る要件の「ISMS クラウドセキュリティ 認証（JIS Q 27017）の認証を取得していない場合の要件」を満たす必要があります。ISMAP管理基準の詳細はISMAPポータルサイトを ご参照ください。 https://www.ismap.go.jp/csm?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0010028&sys_kb_id=d1f3e275838706102668f3a8beaad354&spa=1
9	P10		「落札者は、落札決定の通知を受領後速やかに「ISMAP 管理基準対応リスト」様式を提出してください。」とあるが、落札者はいつまでに「ISMAP 管理基準対応リスト」の提出が必要か。	落札者は落札通知後速やかに「ISMAP 管理基準対応リスト」を提出できる事前に準備いただくようお願いいたします。
10	該当なし	該当なし	上限金額は設定されていますでしょうか？ 意見招請の段階では開示できないとのことでしたが、対応要件が非常に多いこと、また提案内容を含む競争であるため、ご提示いただいた方が提案しやすく存じます。	入札金額の上限額は開示しておりません。
11	P22	(4) LMS へのアクセスと拡張性	将来的にユーザーが増えた際の最大同時アクセス数に関してですが、5ジャンルの研修が同時に行われることを考えて、2500人ぐらいの想定でよろしいでしょうか？	過去1年間の現行LMSへのアクセスログを調査したところ、最大同時アクセス数（＝ログイン数）359件であることが分かっています。現在18000ユーザーであり、2027年度のユーザー数が50000ユーザーへ拡大したとしても最大アクセス数は1000件程度と見込んでいます。
12	P22	(3) UI のローカライズと多言語対応	UIの言語に関して必須は日本語と英語のみと書かれていますが他の5言語は任意という理解でよろしいでしょうか。	UIに関しては、他の5言語は任意となります。一方で、各言語で翻訳されたコンテンツにつきましては、LMS上で正しく表示されることが必要です。
13	説明会投影資料	開始時期	先日の説明会で投影した資料では、青破線が旧LMS、黒実線は新LMSと説明頂きました。あの表においては、「協力隊派遣前訓練」の第一回短期派遣者向けに2024年10月から実施スタートとなるように見えましたが、その認識で合ってますでしょうか？	青破線が旧LMS、黒実線は新LMSであることはご理解の通りです。一方で、説明会で投影した各事業における研修とLMS切替スケジュールは大まかなイメージであり、現在各事業の主管部署と詳細を確認中です。なお、11月には新規ユーザーのID発給、12月上旬には現行LMSのユーザーの一斉引継ぎが発生し、新事業者へのヘルプデスクの稼働も見込まれます。回答No. 1を参照ください。
14	説明会投影資料	開始時期	スタートまでに、すべての機能が満たされていないと要件不十分となりますでしょうか。各社それぞれ機能が違うため、既存のベンダー様と同じ機能は持っていない場合は開発が必要になります。その期間がないことが予想されるため質問です。	必須機能に関しては本契約開始までに必要となりますが、任意機能に関しては本契約開始後、段階的な実装で問題ございません。尚、必須機能のうち、カスタムページ・コミュニティ・自動メールの機能につきましても段階的な開発で問題ございません。
15	ユーザサポート業務フロー	受講者問合せ	対象者の数に対して、実際の数字が登録65件/月（1日あたり3件程度） 問合せで85件/月（1日あたり4件程度）と少ないようです。以前に人件費に例と挙げられた時間数だと非常に余裕を見ているように感じました。1件当たりの処理時間として各所に確認したり相当時間のかかることを実施していることもありますでしょうか。主な問合せとその対応時間について知りたいです。	新LMS導入時期やユーザーの増加に伴い問合せ数が増加することを加味し、実績値＋αで提示しています。2024年4～6月の最新の問合せの実績として、ID発給35件/月平均、問合せ109件/月平均の実績値がございます。
16	その他	コミュニティにおけるストレージ利用について	現在のコミュニティ機能として、ストレージサーバ的な利用方法と推測されましたが、あえてLMSではなく外部の専用のストレージサーバにて管理することはご検討はされないでしょうか？セキュリティの面、コンテンツ管理の面、委託先のリプレイスの容易さの面で、その検討も必要かと感じました。	本委託契約以外で、弊機構がコミュニティ機能の維持のためにストレージサーバを調達することは検討していません。現行のLMSのコミュニティ機能と同じストレージとしての機能（データの格納先として誰でも自由に格納でき、誰でも自由にファイル編集やダウンロードが可能）の必要性はないものの、①受講者間でナレッジシェアを行える仕組み（PDF及びJpgがアップロード可能）、②受講者から講師と研修管理者にむけてレポート提出を行う仕組み ③研修管理者から全受講者にむけた資料共有（ガイドラインやマニュアルの提示など）の仕組みが必要です。
17	P. 5	(3) 共同企業体、再委託について 2) 再委託	「再委託は原則禁止となります。」とありますが、主業務である業務全体のディレクションやシステム運営等は受託業者が行い、その補助業務として外部業者に再委託を行うことは、問題ないでしょうか。	本件業務全体に大きな影響を及ぼさない補助的な業務に限り再委託は可能です。再委託を予定している業務について、技術提案書に記載してください。
18	P. 14	(3) 本業務委託の契約期間	P. 18では、「2024年10月～11月 LMS更新に係る移行期間」、及び「2024年12月 本格稼働」との記載があります。本格稼働は、海外協力隊3次隊が使用する部分のみで宜しいでしょうか？	海外協力隊だけではなく、国際緊急援助隊、研修員受け入れ事業、人事部の各主管部署の各研修においても本格稼働の支援を実施して頂きます。各事業の研修もLMS更新期間に関わりなく継続しており、それぞれ新LMSの利用導入の支援が必要となります。

通番	該当頁	項目	質問	回答
19	P. 15	3. 「要機密情報」を取り扱うクラウドサービスに関する事項	利用を想定するクラウドサービスが「ISMAP等クラウドサービスリスト」に登録されていない、かつ申請していない場合は、業務説明会ではクラウドセキュリティ認証（JIS Q 27017）の提出は必要ないとのこと説明がありました。業務仕様書（案）では以下の①②を実施することが記載されていますが、実施すべき事項をご教示ください。 ① 技術提案書提出時に、ISMS認証（JIS Q 27001）、およびISMSクラウドセキュリティ認証（JIS Q 27017）の取得を証明する書類を提出する。 ② 落札した場合のみ、落札決定通知の受領速やかに、「ISMAP管理基準対応リスト」様式に記入して提出する。	入札説明書に記載のとおり、ISO27001は認証取得を必須としています。ISMSクラウドセキュリティ認証（JIS Q 27017）の認証は競争参加にあたり、必須の要件ではありません。ISO27001/ISMS の認証を有することを必須の技術要件としますので、「ISMAP 等クラウドサービスリスト」に登録されていない旨を技術提案書に明示の上、ISO27001/ISMS の認証取得が証明できる書類を提出してください。ISMSクラウドセキュリティ認証（JIS Q 27017）の認証を取得している場合は、併せて提示してください。なお、落札者に決定した者は、落札決定の通知を受領後速やかに「ISMAP 管理基準対応リスト」様式を提出してください。
20	P. 18	(4) 本業務委託の内容 エ) JICA-VAN LMSデータ容量利用状況及び見込み ③LMSヘルプデスクの業務	「受託者はヘルプデスク窓口を設置し、ユーザID発給、LMS操作に対する問合せ対応などをメールあるいは電話対応によって行う。」とあります。一方で、フローでは「Formsデータダウンロード」との記載があります。この「Formsデータダウンロード」は、サポート業務を効率化するため、受託業者が独自に準備する、ということでも良いでしょうか。上記と異なり、独自のフローがある場合は、ご教授ください。 また、この「Formsデータダウンロード」の作業で、受託者側が任意に利用している問い合わせ用システムから問い合わせデータをダウンロードして、内容を集約して業務完了報告書として提出する、という解釈であっていますでしょうか。	受託業者様がユーザーサポート業務を効率化するために独自にフローをご準備頂くことについて提案を歓迎致します。業務完了報告書に提出頂く内容としてはご理解の通りです。
21	別添2P. 1	表紙	「業務仕様書（案）」との記載がありますが、技術提案書は本内容に沿って作成しても問題ないでしょうか？	問題ございません。業務仕様書（案）及び別添資料、入札説明書の技術提案書の作成要領の内容を踏まえて技術提案書を作成ください。
22	別添2P. 17	エ) JICA-VAN LMS データ容量利用状況及び見込み	1. 「常時LMS 上でアクセスできる状態にしておくべきアクティブコンテンツの総容量は2TBと想定している」とありますが、アクティブコンテンツはどのような条件で選定するのでしょうか。 2. アクティブコンテンツの選定は、自動的に選定する（非アクティブにする）仕組みが必要でしょうか、あるいは運用担当者が1つずつ非アクティブにするコンテンツを非アクティブに設定するのでしょうか。	現在は格納できる動画の総容量に制限がないことから、非アクティブ化の処理は全体では行っておらず、各事業の研修管理者の判断に委ねています。今後もデータ容量がひっ迫しない限りにおいては、自動的に一部の動画を非アクティブ化する仕組みを構築する必要性はないと考えています。
23	別添2P. 17	エ) JICA-VAN LMS データ容量利用状況及び見込み	データ容量表に「カリキュラムデータ」とありますが、 1. 既存LMSでの用語「カリキュラム」の定義を教えてください。 2. カリキュラムデータに含まれるデータ種別を全て教えてください。 意見招請の質問回答（ikenkaito_24a00048_1.xls）のNo. 29の質問で「カリキュラムデータは、登録されている学習コンテンツ」であると回答いただいています。一方、No. 21のデータ容量の割合に関する質問への回答で「PPT, Word, PDF, Excelなどの学習教材が30%、動画が19%となります。それ以外の割合では、カリキュラム31%、SCORMコンテンツ7%、残りは集合研修・テスト・アンケート」と回答をいただいでいて、カリキュラムには学習教材、動画、SCORMコンテンツ、集合研修・テスト・アンケートは含まれないものと理解できます。カリキュラムデータの実体は何なのかを明確にしたいための質問です。	1. カリキュラムの定義： コーナーストーンでは、学習パッケージをカリキュラムと呼びます。カリキュラムの作成により、eラーニング教材（SCORMコンテンツ）、ビデオ（動画）、学習教材（PPT, PDFなどのファイル）、テスト、集合研修、アンケートなど、複数コンテンツを束ねて研修を扱うことが出来ます。（解説動画：https://youtu.be/LYt9SYlyfwQ?si=3a5xZcQMhc-4K13l） 2. カリキュラムに含まれるデータの種別： カリキュラムに含まれるデータは、SCORMデータに加え、MP4, WMVなどの動画ファイルとPPT, PDFなどの学習教材ファイルのデータを指します。 よってカリキュラムには、動画、SCORMコンテンツ、学習教材、集合研修、テスト、アンケートが含まれています。（カリキュラム外のコンテンツと同じものが重複してパッケージ化されている状態）データ総容量については回答No. 3をご参照下さい。
24	別添2P. 17	エ) JICA-VAN LMS データ容量利用状況及び見込み	「本契約期間内におけるデータ容量最大値は3. 5TB とする」とありますが、そのうち動画データの容量はどれだけを想定していますか。 意見招請の質問回答（ikenkaito_24a00048_1.xls）のNo. 21では「動画が19%」、No. 22では「動画データ容量は0. 2TB」と記載されていますが、全体を3. 5TBとしてNo. 21の割合に基づく動画は0. 67TBとなり、No. 22の0. 2TBと異なります。より正確な動画データ容量で見積をしたいための質問です。	動画データ（MP4）の想定量について、直近の実績は、0. 743TB であり、今後の需要を見込み余裕をもって、3. 5TBとしています。回答No. 3をご参照下さい。
25	別添2P. 22	(4) LMS へのアクセスと拡張性	「LMSへの同時アクセスは、2023 年度の実績に基づき、平均同時接続数500 件、最大1, 000 件」とありますが、同時接続数の定義を詳細に記載してください。 例1）LMSに同時にログインしているが、テストや研修教材を受講しているだけではなく、コミュニティなどを見ているユーザ数も含む。 例2）LMSの同じテストや研修教材を一斉に同時に受講しているユーザ数であり、コミュニティや掲示板などを見ているユーザ数は別に数えるため、最大ログイン数は1000ではなく2000や3000のユーザ数となる。 ※準備するLMSのサーバスペックや台数に影響があり、費用も異なりため、質問となります。	「平均同時接続数500件、最大1, 000件に対応」は、同時ログイン数を指しています。回答No. 2をご参照下さい。
26	別紙2P. 23	(8) 障がい者への配慮	「LMSのUIは、障がいのある人に使いやすいようにするためのスクリーンリーダーへの対応やバリアフリーなナビゲーションなど、障がい者に配慮した対応が求められる。」とあります。「バリアフリーなナビゲーション」とは、難聴者に対しての字幕対応、という認識で合っていますでしょうか。	視覚障害者に配慮しLMS内で必要な情報を簡単に情報を見つけることができるよう工夫されていることを想定しています。
27	別添2P. 28	4. 業務の実施に当たり確保されるべきLMSサービスの質 (1) ヘルプデスク運用体制	「海外の研修員は地域によっては時差が大きくオンデマンド学習時は基本的にメールあるいはチャットでの対応とする。」とあります。チャットは、サポート時間は「平日日本時間9時30分から17時45分（JICAの業務時間に準ずる）」との記載もあるため、チャットでの問い合わせの場合、自動返信機能を用意しておき、対応時間に改めて回答をお戻しする。ということでもよいでしょうか。	ご認識の通りです。
28	別添2P. 28	ユーザーサポート業務フロー ①ID発給	「JICA-Net視聴などの理由による外部ユーザー自らの個別ID申請に対しては、ユーザー情報確認時にヘルプデスクからJICA職員へJICA関係者かメールで身元確認を実施しています。」とあります。個人ID以外の確認は不要でしょうか？	身元確認の実施は外部ユーザー自らのID申請のみとなり、研修管理者からのID申請については確認不要です。
29	別添2P. 28	ユーザーサポート業務フロー ①ID発給	「ID登録・グループへの追加」とありますが、「グループへの追加」とは、何を指していますか？	「グループ」は現行LMSでのユーザーが所属する単位です。1つの研修コースに「管理者」「委託先」「研修員」の3グループが存在し、「管理者」「委託先」各グループは、紐づけられた「研修員」グループにのみカリキュラムの割当ての権限が付与されます。ID発給時にはこのグループへの追加作業が発生しています。
30	別添2P. 29	ユーザーサポート業務フロー ①ID発給（続き）	「研修コースコミュニティの作成」とありますが、「研修コースコミュニティ」とは、どのようなものを想定されていますでしょうか？	現行LMSでは研修コースごとにコミュニティを作成して、コミュニティ上で資料共有、レポート提出、意見投稿を行っています。研修員受入れ事業においては、研修員が帰国後も自身が提出したアクションプランの進捗や近況報告などの投稿を行っている例もあることを踏まえ、本契約においては落札業者様のLMSの機能に応じ、研修内容に関わる投稿をするなど研修期間終了後も継続した利用の可能性について検討しております。必要な機能としては回答No. 16をご参照ください。
31	別添2P. 29	ユーザーサポート業務フロー ①ID発給（続き）	「二要素認証の登録有無確認」とありますが、開始時、及び毎月の対応件数の平均値でよいのでご教示頂けますでしょうか？ また、「二要素認証」自体は、管理者が管理画面(受講履歴や個人のID情報など)にアクセスする時という認識ですが、合っていますでしょうか。	二要素認証（或いは生体認証）の開始は、2025年1月から二要素認証スタートを想定しておりますが、難しい場合は落札業者が決定後にご相談となります。2024年4～6月の実績を踏まえて、毎月の対応件数の平均値は15件/月程度となります。 二要素認証は、管理者がLMSへログインする時に適用となります。
32	別添2P. 29	ユーザーサポート業務フロー ①ID発給（続き）	「認証登録作業」について、先に認証登録をするフローになっていますが、どのようなフローを想定されていますでしょうか？	現行のMicrosoft AzureADを利用した認証登録作業となります。現行のフローではLMS側でのID発給の後に、Microsoft AzureADでの認証登録作業が発生しておりますが、新LMSにおいてはMicrosoft AzureADの利用は必須としていませんので、AzureADを利用しない場合はこの作業は不要となる可能性があります。
33	別添8P. 1	クラウドサービス調達に係る要件	利用を想定するクラウドサービスが「ISMAP等クラウドサービスリスト」に登録されていない、かつ申請していない場合は、業務説明会ではクラウドセキュリティ認証（JIS Q 27017）の提出は必要ないとのこと説明がありました。業務仕様書（案）では以下の①②を実施することが記載されていますが、実施すべき事項をご教示ください。 ① 技術提案書提出時に、ISMS認証（JIS Q 27001）、およびISMSクラウドセキュリティ認証（JIS Q 27017）の取得を証明する書類を提出する。 ② 落札した場合のみ、落札決定通知の受領速やかに、「ISMAP管理基準対応リスト」様式に記入して提出する。	回答No. 19のとおりです。
34	p. 21以降	入札説明書 第5	内容変更は可能という認識でよろしいでしょうか？	入札説明書P. 11のとおりお契約書（案）の文言に質問等がある場合は、質問書をご提出いただいております。
35	p. 22	4(1)	お問い合わせの言語対応が英語と日本語ですが、英語での対応は必須でしょうか？ 英語対応はオプションとなりますため、要件の優先度合いをご教示いただけますと幸いです。	問い合わせへの英語対応は必須となりますが、基本的にはメール或いはチャットでの対応と致します。

通番	該当頁	項目	質問	回答
36	p. 22	4(1)	お問い合わせいただいてから、弊社からの一次回答は通常3営業日です。 ご要望の回答は1営業日とのことですが、許容いただける範囲でしょうか？	問い合わせへの一次回答は、基本的には1営業日、且つ2営業日以内に解決することを基本として頂くようお願いいたします。
37	p. 22	4(3)	アラビア語など5言語対応が必要とのことですが、弊社の操作画面などシステム対応言語は日英中（簡体・繁体）越です。言語対応の要件は必須、あるいは優先度の高い項目でしょうか？	操作画面などのUIの表示は日本語・英語の2言語が必須となり、それ以外の言語は必須ではございません。一方で、主に研修員受入れ事業で利用されるコンテンツはアラビア語など5言語に翻訳されており、コンテンツの表示は5言語が正しく表示されることを必須とします。
38	p. 24	6(2)①	3,343人日（目安）となっている根拠は別紙2業務仕様書の全内容をもとに算出されておりますでしょうか？現LMS業者の工数というものでしょうか？	仕様書に記載の業務量の目安3,343人日の根拠は、意見招請で提出頂きました各業者様の参考見積を踏まえて算出しております。
39	別添	2023年度課題別研修コースリスト	各研修には、eラーニングやテストなど複数のフェーズで研修が構成されているものと思料いたしますが構成についてご教示いただけますでしょうか？コンテンツ数や各研修の教材などご教示ください	2023年度の課題別研修（研修員受け入れ事業の一種）における利用方法は各研修管理者に委ねられており、統一的なLMS利用の構成はございません。コンテンツ数や教材はそれぞれのやり方に応じた形となっています。主に来日前の事前学習としてeラーニングでの利用事例があり、10件程度の動画コンテンツを視聴する内容のものも存在します。 尚、2024年度より来日前動画視聴を統一的に指示しており、14件の動画を各研修コースの開始までに視聴完了するように各研修員へ案内しています。
40	p. 18	4(2)	説明会にて一次受講が10月からと伺いましたが、システム連携構築やデータ移行にはご契約後2~3ヶ月かかる場合がございます。ご調整が可能な項目はございますでしょうか？	説明会で投影した各事業の研修における新LMS利用時期につきましてはあくまでも大まかな内容であり、詳細につきましては現在各事業の主管部門と調整中の段階です。11月には新規ユーザーのID発給、12月上旬には現行LMSのユーザーの一斉引継ぎが発生し、新事業者へのヘルプデスクの稼働も見込まれます。回答No. 1をご参照ください。
41	メニュー一覧 (1/2)	6	「トレーニングフォーム形式」とはどのような目的で用いる機能でしょうか？	受講者に対するトレーニングの評価や受講内容確認のためのLMS上のアンケートです。
42	メニュー一覧 (2/2)	18	「標準レポート」とは何を目的とした、どのような項目のあるレポートでしょうか？	現行LMSで用意されているレポートテンプレートです。（デフォルトで準備されたレポートテンプレートであり、修正・追加などのカスタマイズは不可）社員情報、集合研修、トレーニング、システムなどの大項目があり、それぞれ詳細なレポートを抽出することができます。
43	メニュー一覧 (2/2)	22	「学習割り当てツール」とはどのようなツールでしょうか？LMS付属なのか、別ツールなのか、目的も併せてご教示いただけますと幸いです。	現行LMS内のツールです。現行LMSでは、学習コンテンツのアップロード、カリキュラムの作成、受講者への割当てが別々の操作画面となっています。「学習割り当てツール」とは、受講者への割当ての操作画面となります。
44	コミュニティ概要	1	赤字部分の動画を「トレーニングとしてアップロード」「学習教材はトレーニング化」とはどのような意味でしょうか？	「トレーニング化」とは現行LMSへアップロードしてLMSのコンテンツとすることです。
45	P14	2.業務委託の内容 （4）本業務委託の内容 ①現行LMS からの引継ぎ （先行事業での利用機能及び移植するデータの種類と規模） 【現行JICA-VAN LMS 利用機能一覧】の表	カリキュラム PPTは、そのままLMSに掲載する予定でしょうか？	はい、ご理解の通りです。
46			テスト 「テスト分析」とはどのような機能でしょうか？	テスト項目ごとに正解率を集計しグラフ化し研修前と研修後に実施をした上で正解率がどれほど向上したのかを可視化したり、テスト受講者全体の平均値の推移を可視化する機能などを想定しています。（費用をかけて開発することは想定していません）
47			アンケート CSV形式で出力するのは、回答のみでしょうか？	回答したユーザー情報、回答日及び回答内容になります。
48			レポート出力 ①システムに登録されている情報をCSVで出力できるという考え方でよろしいでしょうか？ ②どのような情報が出力できればよろしいでしょうか。受講履歴、アクセス履歴以外になにかありますか？	①ご理解の通りです。 ②受講履歴、アクセス履歴以外に、ユーザー情報、テストレポート、アンケート回答レポート、コンテンツ視聴データの出力が必要です。
49			コミュニティ ①グループチャットと掲示板の使い方の違いはどのようになりますか。 掲示板をグループで利用できればチャット機能はなくてもよいでしょうか。 ②掲示板にファイルを添付することはできますが、エクスプローラーで操作ができるようなイメージのストレージはご提供できません。ファイルが添付でき、メンバーと共有できれば問題ないでしょうか。	①グループチャットは所謂、掲示板と同じ使い方になります。ポップアップが出てくるものではなく、コミュニティ上での投稿となります。掲示板をグループで利用できればチャット機能は無くても問題ございません。 ②ファイル添付ができ、メンバーと共有できれば問題ございません。
50			ウェルカムページ ①コミュニティフィードとは何が表示できればよいでしょうか。 ②カスタムページバナーは各ユーザーによって異なるバナーを表示することになりますか？	①コミュニティフィードは、コミュニティでの投稿・投稿日・コメントしたことなどが表示されます。こちらは任意機能であり必須ではございません。 ②カスタムページバナー自体はユーザーによって異なるバナーを表示させることはありませんが、クリックした先のカスタムページはユーザーの利用言語に応じて日・英のカスタムページの表示がされるようになっています。
51			カスタムページ ①カスタムページとウェルカムページの利用の違いはどのようになりますか？ 現在ふたつのページで表示している情報をひとつのページで表示すれば問題ないでしょうか。 ②JICA-Net ライブラリを表示とありますが、youtubeの動画を表示させるのでしょうか？	①ウェルカムページは、LMSにログインした際に最初に表示される画面です。カスタムページとは、LMS内の機能で独自にHTMLを使って作成できるページです。ページを集約させることについてはご提案を頂ければと思います。 ②JICA-Netライブラリのカスタムページは、LMS上にアップされたJICA-Net関連動画のリンクが張り付けてあるページになります。
52	P15	イ）LMS に今後あると良い機能（必須項目では無いが 高く評価する機能） （c）テスト結果の可視化機能	具体的にどのような機能でしょうか？ 例）正解率を集計してグラフ化する機能など	回答No. 46をご参照ください。

通番	該当頁	項目	質問	回答
53	P17	エ) JICA-VAN LMS データ容量利用状況及び見込み	動画の流量を計算するために、何分の動画がいくつ含まれるコースを年間で何人が受講するのか、それが何コースあるのか、の情報をご提供いただけますでしょうか。	＜動画視聴の指示件数に関して＞ 一人当たりの動画視聴件数が最も多い「協力隊派遣前訓練」に関して、動画流量の参考となるデータは以下の通り。 ①一人当たりの動画視聴件数（ID発給から3か月以内）：20～25件 ②一回の訓練あたりのID発給数（訓練生人数）：200～300件 ③年間の訓練回数：年に3回 ④動画の平均尺：一本あたり約15～20分（500MB上限） ※実際の協力隊員の画面資料「回答No. 53 学習者ホーム画面サンプル」をご参照下さい。 その他の事業における動画視聴指示件数については以下の通り。 1）緊急援助隊の研修 ①一人当たりの動画視聴件数（ID発給から30日以内）：20～30件 ②一回の研修あたりのID発給数：50～90件 ③年間の研修回数：年に6回 ④動画の平均尺：一本あたり約15～20分（500MB上限） 2）人事研修 ①一人当たりの動画視聴件数（ID発給から30日以内）：20～30件 ②一回の研修あたりのID発給数：30～40件 ③年間の研修回数：年に12回 ④動画の平均尺：一本あたり約15～20分（500MB上限） 3）研修員受入れ事業 ①一人当たりの動画視聴件数（ID発給から14日以内）：14件 ②一回の研修あたりのID発給数：20～30件 ③年間の研修回数：年に380回 ④動画の平均尺：一本あたり約15～20分（500MB上限）
54	P17	2. 業務委託の内容 2. 4 (4) 本事業委託の内容 2. 4. 1①現行LMSからの引継ぎ（先行事業での利用機能及び移植するデータの種類と規模）エ) JICA-VAN LMS データ容量利用状況及び見込み	移行するコンテンツは7500トレーニング（7500コンテンツ）という認識で問題ないでしょうか？	データ移行時期を2024年11月頃を見込んでおり、移行トレーニング件数は12000トレーニング（12000コンテンツ）と見込みます。2024年7月時点の最新状況を確認した結果、登録コンテンツは合計11075トレーニングです。その内訳は以下の通りです。 動画（MP4）：5000件 SCORM：25件（海外協力隊の語学コンテンツ） 学習教材（PPT, PDF, Wordなど）：6050件
55	P18	②LMS 更新スケジュール及び更新作業、初期導入支援の内容	当サービスの標準マニュアルではなく、JICA様の運用に沿った内容のマニュアルが必要でしょうか。その場合、サービスのアップデートが行われた場合は都度追加費用をいただいてマニュアルをアップデートすることになりますでしょうか。	業者様の標準マニュアルでユーザーが操作の理解に支障が無ければ業者様仕様の標準マニュアルで問題ございません。ユーザーが主体的かつ円滑にLMSを活用できるようにフォローすることが事業者に求められています。マニュアルはそのための手段の一つとして、適切にアップデートいただくことが求められます（追加費用をアップデートに際して支払うことはできません）
56	P18	③LMS ヘルプデスクの業務	P28以降のフロー図を見ると、ヘルプデスク利用者は、管理者と「JICA-Net視聴」の個人ユーザのようですが、それ以外の受講者は対象外でしょうか？	ヘルプデスク利用対象者は、① ID発給においては、基本的に研修管理者となります。（研修が発生しない場合は、JICA-Net視聴などの理由による個別の申請もございます）②LMS操作問合せにおいては、研修管理者を含めた全ユーザーが利用となります。
57			・管理側と受講者と窓口を分ける必要はありますか？	研修管理者と受講者の窓口を分ける必要はございません。
58			JICA様とのやり取りはPowerAutomateが必須となりますか？ メール等のツールでのやり取りでのご提案も可能でしょうか。	JICA職員が利用するPCを外部サービスと接続させる際は、JICAが求める最新のセキュリティ要件を当該サービスがクリアする必要があり、導入時には外部接続申請手続きを要します。よって、受託業者の方には基本的にはMicrosoft365 Teamsへの登録をさせていただくか、メールによる連絡を推奨しています。
59	P19	表 ユーザID発給 他 受託者の役割	認証設定対応とは、どのような作業でしょうか？	LMS側でのID発給の後に、Microsoft AzureADでの認証登録作業が発生しておりますが、新LMSにおいてはMicrosoft AzureADの利用は必須としていませんので、AzureADを利用しない場合はこの作業は不要となる可能性があります。
60	P20	⑤JICA-VAN LMS の利活用促進 ア) コミュニティ機能の活用促進と事業横断的なユーザーのネットワーク化	現行LMSのコミュニティ機能をご教えてください。	現行LMSでは研修コースコミュニティを作成して、資料共有、レポート提出、意見投稿を行っていますが、新LMSにおいて特に資料共有やレポート提出の為にストレージが開発が困難な場合、コミュニティ以外の機能で代替することも可能です。現行LMSでは、研修員が帰国後も自身が提出したアクションプランの進捗や近況報告などの投稿を行っている例もあり、今後は、研修が終了した後も近況報告や研修フォローアップなどによる利用の推進も想定しています。
61	P22	4.業務の実施に当たり確保されるべきLMS サービスの質 （1）ヘルプデスク運用体制	①通常は、メールのみの対応でよろしいでしょうか？ ②緊急時の電話対応として、9時30分～17時45分とありますが、時間のご相談は可能でしょうか？ ③緊急時の電話対応は日本語のみでよろしいでしょうか。 ④チャットの対応も必須でしょうか？必須の場合、どのようなツールを使用しますか？	①メールのみの対応体制は不可となり、電話での問い合わせ対応も必要です。 ②LMS利用者の半数はJICA内ユーザーであり、原則JICAの業務時間に準じた対応をお願いいたします。 ③電話対応は日本語のみです。 ④チャットの対応は必須ではありません。
62	P24	（2）契約年度業務完了報告書 ②LMS 運用状況のデータ分析	コミュニティの推移とは、どのような内容でしょうか？ コミュニティ数の推移でしょうか？	コミュニティへの投稿回数や意見交換がされた回数などの推移や傾向です。（研修期間中の投稿が多い、或いは研修期間終了後も投稿がされている、意見交換が多いコミュニティの特徴など）
63	P. 13	業務仕様書 2. 業務委託の内容	今回のご提案範囲について相談がございます。 Google Workspaceにてコンテンツを格納し、Classroomというツールでのテスト管理、コミュニティ機能は、GoogleChatなどGoogle社のグループウェアによる提案を想定しておりますが、提案要件を網羅できずにあります。一部の要素の提案は可能なものでしょうか。以下、背景となります。 業務仕様書より、以下の観点を満たし、プロジェクト推進を提案が必要と読み取っております。 ①コアユーザーの研修の質の向上と研修運営体制の強化 ②JGA/クラスター別コンテンツ拡充及び本 LMS の利用価値の向上 ③分野横断的なネットワーキング化の推進 ④SNS との連携強化などの施策による交流の活性化 ただ、弊社や弊社関係会社では、LMS環境の準備と運用に向けた保守、LMS側の利用方法、教育までの範囲となり、コンテンツ制作や企画案の提示、研修内容の改善（コンサルティング）は提案不可。また、ヘルプデスクの対応も厳しい（探し中）となります。 上記のため、プラットフォーム（Google Workspace）の提供は可能ですが、中に格納するコンテンツ作成や運用、貴社事業を理解した研修運営への参加は難しい状況下であり、相談させて頂きました。 要件を満たさない内容での提案は、入札条件を満たさないとの扱いとなる際は、参加を控えたいと考えております。 ご確認よろしくお願い致します。	LMSプラットフォーム単体での提供となる場合は評価することが困難です。尚、共同事業体での提案は可能です。
64	P. 15	仕様書別紙2. 15 ア) LMS の今後の必須機能	Zoomとの連携を必須すると記載がございますが、使用を想定されている一部の国が米国製品が使用できない国の場合、仮にVPN・専用線であったとしても対象国政府の判断でいつでも切断されてしまう可能性がございます。必ずしも全ユーザーで使用いただける状態ではない可能性があることを踏まえて、必須機能となっている認識でよろしいでしょうか。	ご懸念の点を考慮した上で必須機能としております。
65	P. 47	仕様書別添8. クラウドサービス調達に係る要件	「ISMS クラウドセキュリティ認証（JIS Q 27017）の認証を取得していない場合は以下の要件を満たすこと」として、(a)～(cc)までの記載がありますが、JIS Q 27017の上位概念である「ISO27701」を保持している場合は、(a)～(cc)を満たしているとしてご承認いただけますでしょうか。	ISO27701は情報セキュリティマネジメントシステム（ISO27001）の要求事項に加え、個人情報の処理によって影響を受けかねないプライバシーを保護するための要求事項とガイドラインが規定されているものです。一方、ISO27017のうち最低限満たすべきとして纏めた(a)～(cc)はクラウドサービスセキュリティに関する内容ですので、ISO27701の認証取得済であることによって(a)～(cc)を満たすということにはなりません。
66	P. 15	入札説明書3. 「要機密情報」を取り扱うクラウドサービス利用に関する事項	ISO27001/ISMS の認証取得が証明できる書類は、技術提案書とまとめて、「技術提案書・競争参加資格確認申請書」としてメールにて提出する認識でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりISO27001/ISMS の認証取得が証明できる書類は、技術提案書とまとめて、電子メールにてご提出ください。

通番	該当頁	項目	質問	回答
入札説明書の訂正				
通番	該当頁	項目	訂正前	訂正後
1	意見招請時の質問への回答	No. 21	（質問）「本契約期間内におけるデータ容量最大値は3.5TBとする。」とあります。Ppt、動画等、コンテンツの割合をご教示ください。コンテンツが動画の場合の1つのコンテンツを一人当たり何回の受講しますか。 （回答）PPT、Word、PDF、Excelなどの学習教材が30%、動画が19%となります。それ以外の割合では、カリキュラム31%、SCORMコンテンツ7%、残りは集合研修・テスト・アンケートとなります。動画コンテンツの1人あたりに視聴回数については、研修コースの場合は10名～150名程度がそれぞれ1回～複数回視聴する想定です。	（質問）「本契約期間内におけるデータ容量最大値は3.5TBとする。」とあります。Ppt、動画等、コンテンツの割合をご教示ください。コンテンツが動画の場合の1つのコンテンツを一人当たり何回の受講しますか。 （回答）意見招請時の回答21番を全削除する。データ容量に関連する回答として、上述の通番3、24、53をご参照下さい。
2	別紙2 P. 27	<別送資料>	<別送資料※> 別送1. 受注者持ち込みPC仕様 別送2. 標準パソコン ハードウェア仕様 別送3. 標準パソコン ソフトウェア一覧 別送4. サイバーセキュリティ対策実施細則 別送5. 独立行政法人国際協力機構サイバーセキュリティ対策に関する規程 別送6. 現行LMSのチュートリアル動画URL一覧 別送7. 現行LMS利用状況アンケート結果 別送8. 遠隔研修全般に係る調査結果 別送9. LMS移行作業のポイントと概要(参考) ※送付方法は、入札公告4. (2)別送資料の送付期間及び送付方法に記載のとおり。	<別送資料※> 別送1. 受注者持ち込みPC仕様 別送2. 標準パソコン ハードウェア仕様 別送3. 標準パソコン ソフトウェア一覧 <u>別送4. 現行LMSのチュートリアル動画URL一覧</u> <u>別送5. 現行LMS利用状況アンケート結果</u> <u>別送6. 遠隔研修全般に係る調査結果</u> <u>別送7. LMS移行作業のポイントと概要(参考)</u> <u>別送8. 業務内容説明会資料</u> <u>※送付方法は、入札説明書6. (2)入札説明書の資料の交付方法のとおり。</u>
3	P. 6	6. その他関連情報 (1) 入札説明書の資料の交付方法	「独立行政法人国際協力機構サイバーセキュリティ対策に関する規程（2024 年4 月1日版）」及び「サイバーセキュリティ対策実施細則（2024年4月1日版）」に関しては大容量ファイル送受信ソフト（GIGAPOD）を通じて交付します。交付方法は別紙「手続・締切日時一覧」をご覧ください。資料の交付を希望する場合、「機密保持誓約書」（様式集参照）をメールに添付し「4. 手続全般にかかる事項（1）書類等の提出先」へ提出ください。	「独立行政法人国際協力機構サイバーセキュリティ対策に関する規程（2024 年4 月1日版）」、「サイバーセキュリティ対策実施細則（2024年4月1日版）」及び第2業務仕様書案、別送資料に関しては大容量ファイル送受信ソフト（GIGAPOD）を通じて交付します。交付方法は別紙「手続・締切日時一覧」をご覧ください。資料の交付を希望する場合、「機密保持誓約書」（様式集参照）をメールに添付し「4. 手続全般にかかる事項（1）書類等の提出先」へ提出ください。
4	P. 6	6. その他関連情報 (4) JICA-VANコンテンツ（SCORM形式）の閲覧	-	第2 業務仕様書案「JICA-VANコンテンツ（SCORM形式）」に関してはCD-ROMの貸出ができません。 <u>1）交付方法：別添2「貸出申請書」メールに添付し下記2）提出先へ提出ください。</u> <u>2）提出先：JICA ガバナンス・平和構築部 計画・課題戦略推進課</u> 片山、吉田 gptpl@jica.go.jp